

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

なごや  
ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 愛知厚生年金会館  
事務局 ☎763-5110  
会長 野村 義雄  
幹事 深見 章  
会報委員長 北野 寿三郎

No. 7

ROTARIANS-UNITED IN SERVICE  
DEDICATED TO PEACE

ロータリアン——

奉仕に結束—平和に献身

1987~88年度 R1会長 チャールズ・C.ケラー

### 第251回例会 昭和62年 8月18日(火) 晴

#### ◇ “我等の生業”

#### ◇ 出席報告

会員 55名 出席 41名  
出席率 74.55%  
前回 8月11日 (修正出席率) 98.18%

#### ◇ ビジター紹介

名古屋北RC 水野 勝之名古屋第二分区代理 他7名

#### ◇ お誕生日祝福

黒野君(8/20)、浅井夫人(8/21)

#### ◇ ニコボックス

名古屋第二分区代理 水野 勝之君 予備調査にお邪魔します。

野村 義雄君 水野分区代理をお迎えして。

松居 敬二君 早退させていただきます。

成田 良治君 夏休みをライオン王国で遊びました。菅原さんには大変お世話になり有難度うございました。

水野 民也君 拙い話眠り乍らきいて下さい。

黒野 貞夫君 誕生日祝い。

浅井 誠寿君 夫人誕生日祝い。

#### ◇ 深見幹事報告

1. 次回例会終了後、理事役員会を行いますので、理事役員の方はお残り下さい。

2. ロータリー適用相場、現在139円が9月1日より150円に変更となりますのでお知らせ申し上げます。

#### ◇ 野村会長挨拶

本日は水野第二分区代理をお迎えし、正副会長、エレクト、幹事が、色々ご教示を受けました。

私たちはロータリアンとして職業を通じて、社会に奉仕する立場に立ち、一業種の代表としてその業種の倫理的水準の向上に努力し、各人の努力の結果として地域社会全体にロータリー精神を浸透させることが出来ると考え

て行動しているわけですが、さてロータリー精神とは何かと言うと仲々難しいわけです。どうも頭で分かるものではなくて、腹の底で分からねばならないもの様です。

言葉で表現すると、各々が「己」のこと許り考えずに、他人の立場に立ってものを考え、他人のお役に立つ様な行動をしようということ、お互いに相手の立場になって考える思いやりの心が大切であるということですが、腹の底から会得し、自然にスムーズに奉仕の姿が出てくるという迄には修業の時間が随分とかかりましょう。それがロータリーには卒業がないと言われる所以でありましょう。

奉仕とは本来「己」をすてて、己ならぬものに尽くすことです。己とは何か、それは他に対立するものであります。局限であります。

己を生活の基盤とする限り、存在としてあるものは摩擦と相克である。摩擦と相克の狭い世界に反省し更に高いもの、広いものを求め、他の喜びを己の喜びとして、個体的局限を超えることが出来た時に、初めて他に尽くすことの中に己を具現することが出来たという事になるのでしょう。之が超我的奉仕だと思います。

本日水野第二分区代理をお迎えし、この機会に初心に帰って奉仕の意味をよく考えてみたいと思います。

#### ◇ 水野名古屋第二分区代理挨拶



本日は、予備調査で参上いたしました。千種は、水野 民也初代会長さんがいらっしゃる、ロータリアンの集団としては、きわめて立派な現状だと思います。

新しいクラブは興味が有り、疑問が多く、非常に熱心です。私どもの北クラブは28年、来年が30周年で、ロータリー歴の古い人と新しい人の格差ができてきます。古くなると、ロータリーに対する社会的距離、格差ができてきます。

新会長チャックさんは、もう一度ロータリーの本質にかえて、職業奉仕に関心をむけてほしいと言っています。特にポリオ・プラスにも力を入れてほしいと思います。ポリオ・プラスは、ロータリーがユニセフに寄付することになっていますが、来月からは、適用相場が150円に上がりますので、139円の今のうちにと、ご報告申し上げます。

世界のロータリアンは100万人、日本のロータリアンは10万人で、10%ですが、地区が非常に少なく、ガバナーの数も少ないので、国際協議会などへ行っても、日本の発言力は少ないようです。そのため増員、新クラブの増設が、これからの課題です。

職業奉仕とは何かとご質問がありましたが、ロータリーとしての職業奉仕も幅が広く、人により考え方もまちまちですが、職業としてお客の需要に応じるのみでなく、その他の周辺の従業員の応待などすべてよくしていこうというのが、職業を通しての奉仕かと思えます。新しいクラブは問題意識を持っておられるので古いクラブも安穩とはしてられません。

田中ガバナーは、ロータリーの精神は、知情意だとおっしゃっています。

今後共、当クラブのご発展を祈念いたします。

また、先日5周年にご招待いただき、和気あいあいの会員、ご夫人を拜見いたしました。どうもありがとうございました。

#### ◇ 講演

“歴代会長雑談”

会員 水野 民也 君



ロータリー情報と申しますか、4 Way Test の解釈か、4大奉仕について、話をしようか、迷いましたが、私のRCでした事についての方が興味が有り、歴史であると考えましたので、その話をしたいと思います。

老人の過去の繰り事と思い、眠い人は寝て頂いても結構です。

今から29年まえの昭和34年の春、滝兵衛門さんから電話があり、RCに入らないかとの話、RCの知識も全く無く、戦時中フリーメイソンと間違いスパイ嫌疑のあった新聞記事と名古屋の偉い人の集まり位しか知りませんでした。

その頃、仕事も一介のサラリーマンを退職し、東山公園のボートの経営のみ、職業分類もアミューズメント・パークとなっており、他の名古屋一流の方と較べ見劣りのすること考えさせられました。お受けする事とし、第一回の会合は陶磁器会館でした。

5月21日の創立総会、これは名古屋北RCと同じでしたが、承認は北が6月17日で東は6月30日となっており、総ての書類は英語であり、緊急のものは電報と云う時代の為、一業種の理解がアメリカで出来ず2週間程遅れ6月30日となり不便な時代で、それ以後数年は年度、半期報告も英文で訳すのが大変でした。

例会場は鶴舞公園の名古屋市公会堂で未だ冷房装置もなく、例会終了後に帰る時、災天下の駐車場の車も火の車、思い出すのもいやな9月25日の伊勢湾台風の来襲、公会堂も被災者の避難所となり、例会場も名古屋駅前のニュー・ナゴヤに会員の梅原さんの好意で決定し、ナゴヤ・キャッスルの出来るまで会場でした。

昭和34年には260地区として5RCが誕生、そのうち碧南RCのチャーターが26日で勿論開催は出来ませんでした。当日参加したのはGと荒川さんだけであつたと記憶しております。

チャーター・ナイトは公会堂、東、北の合同で台風の被害の多少薄らいだ翌年の3月6日に行いました。準備にはサッポロ・ビールの工場を使わせて頂きました。

皆会員が夫人の着るものの心配から帯にRのマーク、着物の裾にもマーク入りのユニホルでお客様を出迎えたことも印象的でした。

5代目の幹事を受け、沼沢南山大学学長の会長の下につかえました。RCの事務所も幹事の会社が住所でしたが、私の時代からニュー・ナゴヤに居を構える事となりました。

5周年の式典も簡素であり、その記録紙もガリ版刷りの物であり、バナーだけはカラー

の写真を添付しました。

昭和46年は大変な年でした。71-72年度のGに佐藤知雄がなられ、その地区幹事として私が東から推薦された事で、云われた以上しなければなりません。

地区幹事と云っても何の教育もありません。然し地区全体からの質問はGに行くよりも幹事の所に集中します。返事は常識程度で後はGに聞きよくGをこまらせました。

今のG事務所は副幹事もあり、楽になっておりますが、3代目です。滝沢Gの時の幹事は原PGでした。次は伊藤次郎左エ門PGの時は亀末広の吉田市郎さんでした。そして私と日本としても、地区としても何も決まったものはありませんし、申し送りの書類等も無かったといっても良い位のものでした。最初のG. Letterを作り、発送はしましたが、誤字、脱字だらけで、安野PGから叱られた事が印象に残っております。

事務所はニュー・ナゴヤで足立さん(西RCのお嬢さんです)と二人きり、佐藤Gを入れて三人です。気は良く合い和やかでしたが、週に3日位は費やしました。

公式訪問の日程づくり、信州は夏でなく閑散期を希望され、その間の記念式典の日取り、地区大会の日程、その打合せの日程、RCの曜日は決められておる関係上それを勘案すると、その地方での宿泊の事等大変な事です。又今程ではありませんが、分区代理との打合せもあり、その時の森PGの報告は熱心であり、立派なものでした。

この間にG会議の準備も必要です。

7、8月は無事に経過しましたが、9月に入り佐藤Gが身体の不調を云われ、代わりの方はPGの諸先輩です。でも切り抜ける事ができました。地区大会は諏訪でした、大会委員長は長野の医師会の大御所の寺島氏で大会幹事は藤原PGで大会会場に接待役として芸者を入れるか入れないかで一悶着がありました。

名古屋でG会議の後、滝沢、安野、佐藤のG、PGを車に乗せ伊勢神峠を通り飯田まで走った事も思い出の一つです。

72年に入り次期のGにアメリカの研修に行っただけではありません。その方はきまりました。1月に入り、開腹手術をされたのです。困りました何回か豊橋に足を運びましたが、結局その協議会には出席できず、安野PGの再出馬が決まり大変でした。我々の千種RCにも多少関係はありますが、和合RCの設立の書類作りから、会場の設定、その創立総会のお手伝い、チャーター・ナイトの喜びは佐藤Gと同様に一入りでした。又刈谷南

RCの名称の変更も手伝い、高浜の新RCの出来たのも思い出の一つです。

新しい年度となると時に新しい地区の委員会を作っていたいただきました。それは今大竹委員長の世界親睦小委員会です。スキーの世界大会が軽井沢で山本太郎氏の手で行われ、今年の世界ロータリアンのゴルフ大会もこの委員会仕事の一つです。

次の年の岡崎の地区大会にボウリングをいれた事も思い出されます。ゴルフがあってボウリングの無いのは地区大会の委員会で採用されましたが、内藤PGからクレームが付きましたが、水野の職業ならとの温情で決定しました。又その大会は職業別の分科会が採用され話題をうみました。

東が設立して15年目、地区年次大会を受ける事となり、又物好きに大会幹事を受け、委員長に佐藤PGになって頂きGは山田市三郎氏でした。2800余名の参加は当時最高の数字でした。県体育館をメイン会場とし、大き過ぎるので3つに区切り、入り口近くは石田流の花展、中央が会場、奥を2等分し、1つは地区内のRtnの芸術展と即売、もう1つは松尾流の抹茶の接待、この接待もRtnの男子が運び、第2会場が親睦の会場、講演者にはNHKの磯村氏、宴会場は勿論、キャッスルの全会場の貸し切りでした。朝食会に新ポール・ハリス・フェローと共に会長代理を招いた事も地区では初めての事でした。

第2日の減少を見越し、メイン会場の椅子を60%にしたために椅子席の満杯は会長代理、Gを驚かせました。その日の昼食の場所は体育館の中では出来ません。天候が幸いし外での食事は好評でした。それにも増して数の読みの的確であった事も思い出の一つです。

またその決算の結果が良く！000万円ほどの余剰金をだし、ホスト・クラブの寄与金は全部、20年の記念式典に回す事が出来、コ・ホストと地区資金へも返しました。これは開催まで、一切夜の会合を禁止し、例会終了後に打合せ会を持つ事によるものと信じております。

まだまだ話がありますが、時間の都合上これにて打ち止めといたします。

#### ◇次回例会(8月25日)

友愛の日で立食例会の為、講演はございません。

#### ◇次々回例会(9月1日)

講演 “愛知県の少年非行の実態と問題点”

愛知県警 青少年課 調査官  
幸 弘 氏 (紹介 大谷君)

## ◇千種RCの設立迄

水野民也創立会長

昭和57年6月11日 名古屋13RCの会長、幹事会にて当時の山田現分区代理と相羽次期分区代理より「名古屋東RCがスポンサーとなって、新RCを是非設立して欲しい」との懇請があり、理事会、歴代会長幹事会を7月5日に開催、承認、7月19日の臨時総会にて承認され正式の発足を見ました。

その間は悩みました。「クラブ会員の増強は市民の中に良きロータリアンの一人でも増える事を請い願う心の表れであれば、クラブの増加に依る増強は地域への奉仕の足掛かりをより強化するためのものでなくてはなりません」この事は良く判っているつもりでしたが、さみしきは禁じませんでした。

尾関さんから「水野君頼むよ」と云われては後に引く事はできませんでした。それは佐藤PGのとき私が地区幹事で名古屋和合の創立の時、相羽さんに「僕は和合を今、つくるよ、次は君だよ」と云われていた事に起因しております。

その6月の中から7月の中までの忙しかったこと、正式のルールは守らねばなりません、色々雑用が控えております。さて特別代表は余語P分区代理にお願いしました。GEも山田巖元会長にお願いできました。

チャーターメンバーをお願いしなねばなりません。西川、小出、余語、佐藤、関根、勿論、東の役員、理事の方、東RCの皆様を始め他のRCの方々にもお願いしました。

東RCの鈴木会員がここ厚生年金会館の館長さんでした。無理に千種RCに転籍して頂く事とし、ここが公的施設であるので、色々ご無理をお願いし許可を得て頂きました。そして例会場がきました。感謝しております。然し事務所は駄目、東RCの事務所も遠くてとの事で、事務所探し、自薦ではございませんが、成り行き上私が初代会長とし幹事さんには松居さんを口説き、ご尊父の口添えを頂き決定したのが7月の半ば頃の事でした。

問題がありました。市内では初めての二階建てのクラブです。東RCと同じテリトリーを持つ訳です。

これからはキー・メンバーの方々や新入会員の増加の事、創立総会の段取りに掛かり、話があって66日目の8月16日の創立総会に成りました。忘れられません。昨日の様に思い出されます。もうそれから5年の月日が経ちました。

大隈PG、余語 特別代表、山田GE、名古屋東の石塚会長、伴幹事、尾関直前会長、

鋤納直前幹事の皆様の前にチャーター・メンバーの26名は緊張の面持ちでした。その数も7名の方が減り、今は19名です。

我々のRCは時の260地区で88番目、市内で14番目として誕生したわけです。

勿論、司会は東の伴幹事、余語特別代表の開会の辞、来賓紹介、山田GEよりの会員の紹介、そして私が初代会長として推挙され、大隈PGの祝辞、余語特別代表の加盟申請書の提出、相羽分区代理の祝辞、スポンサークラブの石塚会長の祝辞、

そして昭和57年8月24日承認、いよいよチャーター・ナイトの準備にかからねばなりません。

チャーター・ナイトの打合せ、バナーも専門家に依頼すれば費用の事もあり、今は亡き時の副会長の古川勝巳君に頼み「4 Way-Test に因み、4本のつばみ、そして千草の若草色を配し、裏には仮名もじのクラブ名を書き」仮名文字は現会員の黒野清字君の書です。そして何処へ行っても分かる様、心掛けました。

時の立つのも早いもの皆様のお蔭で無事、10月19日にチャーター・ナイトを迎える事ができました。

仲谷知事、本山市長、各PGを迎え、大隈Gと向笠RI会長の署名の認証状の伝達、それ以後の会員も加えて39名の会員とその夫人の紹介も整然と959名の参加を得て形式通りに式を終わり

アトラクションは外川雄三指揮の名古屋フィルハーモニーの演奏で、その伴奏によるロータリー・ソングは始めてとのPG、諸先輩ロータリアンの好評を受けました。

アルコールが少なかったと一部の方からかわれたのが楽しく思い出として残っております。

それ以後理事、役員、会長さん、幹事さんに恵まれ今日の良きRCとして皆様共々、杯を上げ、今後我々のRCが世界のロータリーに互し引けを取らないRCとして成長する事を祈ってやみません。

日々の例会が楽しく、色々の会合、大会、協議会に出席し、勉強して頂きたい。

私はRCとは地域があってこそその我々であり、RCであると信じております。地域社会から頼られる存在のRCとして成長する事を期待してやみません。

我々、RCは家族、地域の皆様、我々ロータリアン相互に、広くは日本のRtn. 世界の人類から支えられております。特に家族皆様のご協力が必要としております。

宜しくとお願いし、お互いの健康を念願し、ご挨拶と致します。